



教育相談（中級）研修講座

茨城県教育研修センター 教育相談課 ☎0296-78-3219

ねらい：児童生徒が抱える問題の解決に向けたかかわり方についての理論と方法を学び、的確なアセスメントに基づいた効果的な指導・援助ができるようにする。

参加人数：小学校17人 中学校17人 高等学校10人 特別支援学校11人 計55人

6/27（木）に「教育相談（中級）研修講座」第1日が開かれました。中級では、初級で学んだ「受容」、「繰り返し」に加え、「明確化」、「支持」、「質問」、「間と沈黙の共有」、「自己開示」の5つの技法を学びます。

受講者のみなさんは、それぞれの技法の適切な使い方を講義や演習を通して身に付けようと熱心に臨んでいました。

○講義・演習「個別面接の実際」

講義・演習「個別面接の実際」は、「面接をされていてご自分で『課題』と感ずることは何ですか？」という問いかけから始まりました。

「明確化」、「支持」、「質問」、「間と沈黙の共有」、「自己開示」の5つの技法について解説を受けた受講者からは、「今回の面接技法は私自身の課題と感ずているところだったので、もっと話を聞きたかったです。」などの感想が寄せられました。

演習では、受講者は実際に5つの技法を使って個別面接のロールプレイを行い、技法の習得に努めました。技法を意識した面接は難しいと感じたようでした。



○研究協議「個別面接の実際」



演習で行ったロールプレイの録音を使って、個別面接の研究協議を行いました。受講者からは、「録音を振り返ることで、言葉のかけ方、声のトーン、間の取り方が分かりました。」、「少しの間があると待つことができず、次々に質問してしまう傾向に気がきました。」、「話を聴く中で、相手のリソースを見つけて気付かせて伝えられるようにしたい。」などの感想があり、多くの気づきがあったようでした。

今回の講座を通して、「自分の普段の生活を見直し、相談しやすい教師になりたい。」、「常に生徒に寄り添えるような教員でありたい。」など、新たな目標をもった先生方が多かったようです。

第2日は、11月7日（木）です。また新しい課題をもって、研修に臨んでいただければありがたいと思います。